

久慈保育園『令和6年度自己評価』

保育所保育指針では、「保育内容等の評価」として『保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない』とされています。

今般、これに基づく自己評価を行いましたのでその結果を公表いたします。

対象者：全職員（園長1名、保育士13名、保育士助手3名、准看護師1名、調理師1名、栄養士1名、事務員1名 合計21名）

評価期間：令和6年11月28日～令和6年12月6日

評価項目：AD尺度（教師の自己評価用）

AD尺度（教師の自己評価用）	
これは、保育者自身が子どもとのよりよい関係を知るために行うものです。 日頃の子どもとのかかわりで、あなたの感じていることを、 そのまま正直に教えてください。 (あなたの感じていることにもっとも近い番号をつけてください。)	
とてもよくある→5 よくある→4 普通→3 あまりない→2 まったくない→1	
内 容	評 定
(1) 私は、子どもがきちんと行動するようにいう	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(2) 私は、子どもがじょうずにできるとほめるようにしている	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(3) 私は、子どもが活動中にさわりだりすると注意する	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(4) 私は、子どもが保育園等を休むと心配する	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(5) 私は、こどもがふざけるとしかる	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(6) 私は、子どもがうれしいときには、いっしょになって喜ぶ	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(7) 私は、子どもに活動中には自分のほうを見るようにいう	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(8) 私は、子どもがこまっているとき、相談（かかわる）にのる	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(9) 私は、子どもに持ち物の管理をするようにいう	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(10) 私は、子どもにきまりをまもるようにいう	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(11) 私は、子どもの作品をていねいに見るようにしている	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(12) 私は、子どもが活動中に、一つの結果を出す（答える）まで見守る	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(13) 私は、子どものやりたいことがわかる	5 - 4 - 3 - 2 - 1
(14) 私は、子どもに身の回りの後片付け（整理・整頓）をするようにいう	5 - 4 - 3 - 2 - 1
記入： 月 日 名前	
受容（A）項目は、(2)、(4)、(6)、(8)、(11)、(12)、(13)である。	
要求（D）項目は、(1)、(3)、(5)、(7)、(9)、(10)、(14)である。	
出典：嶋野重行『福祉と教育のマネジメント 人間関係をよくするための方法』 株式会社PHPエディターズ・グループ 2023年	

評価内容：

- ・受容（A）：子どもを認める、共感する、無条件に理解する、関心を持つといった「考え方や気持ちを認める態度」
- ・要求（D）：子どもに考えや思いを伝える、社会のルールを教える、しつけないといった「考えや価値、気持ちの表出を求めていく態度」

この二つのバランスから自分のタイプを把握し、子どもに対する態度を振り返るとともに改善に役立てる。

集計結果：

タイプ		人数	割合
A D型(ラージ AD型)	A D 2つの評定がともに平均値より高い	13名	62%
a d型(スモール ad型)	A D 2つの評定がともに平均値より低い	2名	9%
A型	Aが高くてDが低い	5名	24%
D型	Aが低くてDが高い	1名	5%

- ・受容と要求のバランスが良い職員（AD型）の割合が最も高い（62%）
- ・次いで、受容する傾向が高くて要求の機能にやや低さがみられる職員（A型）の割合が高くなっている（24%）
- ・要求の評定が低い傾向にある職員には、直接的にクラスを担当していない職種（保育士以外）が多くみられるが、一部の保育士においてもその傾向はみられる
- ・全体の平均値は、受容（A）が 25.5 点、要求（D）が 22.3 点であった

総評：

- ・子どもに対する自分自身の態度を客観的に振り返り自覚することで、良かったと思われる点や改善すべきと思われる点の気づきが得られた。
- ・保育園全体で見た場合に、受容と要求のバランスがとれている職員が比較的多いことが確認できた。また、保育士以外の直接クラスを担当しない職員であっても、子どもと関わるうえでの視点を認識することにつながった。
- ・子どもに対する態度の振り返りが中心の評価項目であったが、同時に他の職員との関係性についても考慮するきっかけになった。
- ・今後は別の視点で自己評価をしてみるものの有効性も認識することができた。